

# まきょう苑通信



2025年7月  
第37号



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設  
「まきょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)  
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目 6-1237  
Tel: (0463) 92-8101 ✉ kikyō-en@showakai.or.jp

## 通所リハビリテーションのスケジュールをご紹介します



## 通所リハビリテーションの内容と取り組み

### 身体機能の維持と生活の質の向上

ご利用者や要支援者の皆様が、できるだけ長く自立した生活を送れよう、身体機能の維持・向上を目的とした支援を行っています。

まきょう苑通所リハビリテーションでは、ご利用者の生活を支えるための様々な取り組みを行いながら、より充実したサービスを提供することを目指しています。

### 地域ケアマネとの連携

地域のケアマネジャーと密な連携を図り、ご利用者を迅速に受け入れることが出来ます。ケアマネジャーとの情報共有を行うことで、ご利用者に適したサービスの実施を目指しています。

### ご家族様の介護負担の軽減

ご利用者に施設で充実した時間を過ごしていただくことで、ご家族様には介護から離れた時間を持ち、心身を休める機会を作ることができます。

### 午前・午後の活動の充実

午前中は机上課題や口腔体操を中心に、ご利用者の認知機能、口腔機能の維持・向上に努めています。午後には、創作活動、余暇活動、調理レクリエーション等に重点を置き、楽しみながら心身を動かし、充実した時間を過ごせるよう工夫しています。

### 交流の場としての役割

通所リハビリを利用することで、色々な人との交流の機会が生まれます。社会とのつながりを持ち続けることは重要で、身体的・精神的な健康を促進する効果が期待できます。

## 部門長インタビュー！

"ききょう苑のスタッフを身近に感じてもらいたい。"をコンセプトに各部門を統括する部門長をご紹介します！



看護部門：加藤 絢子 部門長

### ★ あなたのお仕事内容は？

ご利用者の体調を観察しながら、服薬介助、皮膚トラブル等の処置を行い、体調不良がみられた場合は、医師の指示のもと対応します。

### ★ 勤続年数は何年ですか？

お休みしていた期間もありますが、20年程になります。

### ★ この仕事を始めた理由、きっかけは？

祖父が、訪問看護を利用しながら在宅生活をしていました。身近に看護の仕事に触れる機会があったことが大きかったと思います。

### ★ 働くうえで心掛けていることは？

ご利用者にとっては、リハビリを行い生活の質を上げる場であると同時に、日常生活の場でもあります。安心して生活ができるよう、言葉がけや距離感も大切にしています。

### ★ 仕事をしていて大変だと思うことは？

大変というよりは、ご利用者の体調管理を担っていますので、緊張感があります。多くの方と関わるなかで、皆様の意向に沿えているか不安に思うことはあります。

### ★ 今後の老人施設についてどう思いますか？

ニーズは日々大きくなっていると思います。様々な情報に目を向け、今後のあり方を考えていきたいと思っています。今はまだそのような段階です。

### ★ 今後頑張っていきたいこと、目標は？

ご利用者が、ききょう苑でリハビリや生活をしてよかったと思えるよう、他部門と協力しながら、さらによりよいききょう苑を作っていきたいと思っています。

### ★ 休日の過ごし方と趣味は？

基本的には何もせず無でいます。  
子供のスポーツの試合がある時は応援に出かけ、全力で応援します。  
残念ながら趣味と呼べるものはありません。健康に気を遣う年齢になってきましたので、身体を動かす事を趣味にできたらいいと思っています。



介護部門：岡部 大祐 部門長

### ★ あなたのお仕事内容は？

ご利用者の心身の体調を基に、日常生活全般において介護支援を行っています。

### ★ 勤続年数は何年ですか？

ききょう苑一筋♡21年です。

### ★ この仕事を始めた理由、きっかけは？

アルバイトでプールの監視員をしていた時に、障害のある児童への水泳指導を経験し、福祉の世界に初めて触れたことが、この仕事に興味を持ったきっかけです。

### ★ 働くうえで心掛けていることは？

ご利用者1人1人に寄り添った個別の支援が出来るように心掛けています。ご利用者は安心して生活ができ、ご家族には信頼していただける施設でありたいと思っています。

### ★ 仕事をしていて大変だと思うことは？

24時間交代勤務なので体調管理には気を使います。日頃の身体ケアと、常に安定した精神状態でご利用者と向き合えるよう、メンタルコントロールが重要です。

### ★ 今後の老人施設についてどう思いますか？

特養・老健・通所リハビリ・デイサービス、それぞれの役割や使い方を知らない方も多いと思います。利用目的に応じてサービスを選択してもらえるように、各施設・事業所が特色を持って役割を果たしていければ、しっかり住み分けができるようになると思います。

### ★ 今後頑張っていきたいこと、目標は？

ききょう苑をもっと多くの方達に知ってもらい、この施設を選んで良かったと思ってもらえるよう、多様なニーズに対応していきたいと思っています。

### ★ 休日の過ごし方と趣味は？

洗車♡銭湯♡サウナ♡ デニムを育てる♡洗わず履き続ける。

## 和風パフエ作りの

5月20日入所フロアでおやつ時間に和風パフエ作りのイベントを開催しました。

ご利用者の皆様にバニラアイスの上にお好きなトッピング（あんこ、きなこ、抹茶ようかん、生クリームみかん）を選んでいただき、彩りよく盛り付けてオリジナルパフエを作りました。「トッピングを全部乗っけて欲しい！」「あんこをいっぱい乗せて」といった声が聞かれ、皆様の笑顔があふれる楽しいひとときとなりました。

職員もトッピングを乗せながら会話を楽しみ、和やかな時間を共有しました。

食の楽しみは健康づくりにもつながります。今後もイベントを企画し、食を通して皆様に楽しんでいただけるような活動を続けていきたいです。

（栄養部門 部門長 木我 みな美）

## 創立25周年「創立記念祭」開催

11月9日(日)、毎年恒例となりますが、当苑の創立記念を皆様とお祝いしたく、お祭りを開催いたします。去年同様に今年も感染対策を実施しながら、ご利用者、ご家族、地域の方々など多くの方が楽しめるよう、職員一丸となり企画を考え、大いに盛りあげていきたいと考えております。皆様のご来苑を心よりお待ちしております。

（創立記念祭 実行委員長 和田智一）

## 編集後記

ききょう苑通信をお読みいただきありがとうございます。連日の猛暑の中、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？7月号は、当苑の通所リハビリテーションをより知っていただけるように、ご利用者の1日の過ごし方をわかりやすく図や写真を添えてご紹介しました。写真の掲載に協力していただいたご利用者の方々に感謝申し上げます。また職員へのインタビューは楽しんでお読みいただけましたらと思います。

次回のききょう苑通信もよろしくお願いたします。

（総合企画部 和田智一）

